

令和7年度 年間授業計画

教 科：芸術 科 目：工芸Ⅱ 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	工芸Ⅱ（日本文教出版）
	補助教材：	なし

教科（ 芸術 ）の目標

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（ 工芸Ⅱ ）の目標

【知識及び技能】	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きについて考え、思いや願いなどから個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	感	配当時数
		身	社						
単元 オリエンテーション	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
教科書を通じて様々な工芸作品に触れると共に、生活や社会の中の工芸の動きや伝統と文化について理解できるようにする。	工芸Ⅱについての解説				様々な工芸作品に触れ、生活や社会の中の工芸の動きや伝統と文化について理解できる。				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
作者の心情や意図、自然との関わり、生活や社会を心豊かにする工芸の見方や感じ方を深めることができるようにする。	教科書			○	工芸に対する見方や感じ方を深めることができる。	○	○	○	2
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
主体的に鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	アンケート提出				主体的に鑑賞活動に取り組むことができる。				
単元 張り子細工の玩具	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
伝統文化について関心を深め、生活と密着した郷土玩具を制作し生活を彩りあるものにする楽しさを体験することができるようにする。	張り子とは、アイデアスケッチ				寄せ木技法を用いて素材を観察し組み合わせながら箱物のデザインを検討できる。				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
伝統的な玩具について見識を深めた上で表現したいものを設定し、立体に形作る上で適した張り子の表現方法を探ることができるようにする。	ワークシート、作品、振り返しシート	○		○	集積材の美しさを活かし、機能性と美しさを兼ね備えたデザインを構想できる。		○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
粘り強く制作作業に臨み、主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	デザイン検討時の検査				主体的に創造活動に取り組むことができる。				
定期考査（中間考査）/返却と解説									
単元 張り子細工の玩具	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
粘土造形による立体表現および張り子作業を丁寧に積み重ねて行い、動作をつけて遊べる玩具を作ることができるようにする。	張り子技法による表現、工具の使用方法、鑑賞				様々な工具を活用して寄せ木の立体表現および丁寧な仕上げを行うことができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
強度を出すため厚みを持たせることを意識し、玩具としての動作のギミックを含めて試行錯誤しながら形を作り上げることができるようにする。	ワークシート、作品、振り返しシート	○		○	作業を安全に行い、道具の使い方を創意工夫して形を作り上げることができる。	○	○	○	14
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
粘り強く制作作業に臨み、主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影、講評会での振り返り				主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができる。				
単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
0	0				0				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
0	0				0				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
0	0				0				
定期考査（期末考査）/返却と解説									

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		鑑賞	評価規準	知	思	感	配当時数
		身	社						
単元 寄せ木細工の小箱	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
伝統文化について関心を深め、その技法を用いて素材を観察しながら箱物のデザインを検討する力を育成することができるようにする。	寄せ木とは、アイデアスケッチ				郷土玩具の制作により、生活を彩りあるものにする楽しさを体験することができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
色合いや硬さの異なる様々な集積材の美しさを活かし、機能性と美しさを兼ね備えたデザインを構想することができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート				立体に形作る上で通じた張り子の表現方法を探ることができる。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面		主体的に学習に取り組む態度						
粘り強く制作作業に臨み、主体的に創造活動に取り組むことができるようにする。	デザイン検討時の検索、記録撮影、講評会での振り返りができるようにする。		主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができる。						
単元 寄せ木細工の小箱	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
寄せ木技法をもとに、様々な工具を活用して立体表現および丁寧な仕上げを行うことができるようにする。	寄せ木技法による表現、工具の使用方法、鑑賞				0				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
作業を安全に行い、道具の使い方を創意工夫して形を作り上げることができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート				0				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面		主体的に学習に取り組む態度						
粘り強く制作作業に臨み、主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	記録撮影、講評会での振り返りができるようにする。		0						
定期考査（中間考査）/返却と解説									
単元 皮革工芸の小物	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
皮革材料の性質や染色技法を理解し、刻印の工夫や染色による創意工夫を行い表現する力を育成することができるようにする。	皮革工芸とは、アイデアスケッチ、皮革による表現、工具の使用方法、鑑賞				刻印の工夫や染色による創意工夫を行い皮革での表現をすることができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
実際に使用する用途を認識した上で、刻印の位置や種類、全体の色合いを構想しながら制作することができるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート				刻印の位置や種類、全体の色合いを構想しながら制作することができる。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面		主体的に学習に取り組む態度						
粘り強く制作作業に臨み、主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	デザイン検討時の検索、記録撮影、講評会での振り返りができるようにする。		主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができる。						
単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
0	0				0				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
0	0				0				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面		主体的に学習に取り組む態度						
0	0		0						
定期考査（期末考査）/返却と解説									

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		鑑賞	評価規準	知	思	感	配当時数
			身	社						
3 学 期	単元 手ぬぐいのデザイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	色や構成を意識した模様を構想および印材を彫り出すとともに、手ぬぐいに美しく印を配置できるようにする。	様々な模様について、アイデアスケッチ、工具の使用手法、鑑賞				色や構成を意識した模様を構想して印材を彫り、手ぬぐいに美しく印を配置することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	生活の文化である“包む”行為を想定した上で、模様の見せ方や色合いを創意工夫できるようにする。	ワークシート、作品、振り返りシート				模様の見せ方や色合いを創意工夫することができる。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面		主体的に学習に取り組む態度							
粘り強く制作作業に臨み、主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	デザイン検討時の検査、記録撮影、講評会での振り返りを行うことができるようにする。		主体的に創造・鑑賞活動に取り組むことができる。							
単元 1年間のまとめ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				○	○	○	○	2	
知識及び技能	指導事項	1年間の作品の振り返り								
1年間を振り返り、言葉などで考えを整理し、作品について見方や考え方を深めることができるようにする。										
思考力、判断力、表現力等	教材	ワークシート、作品、振り返りシート								
各作品の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて振り返ることができるようにする。										
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面									
主体的に鑑賞活動に取り組むことができるようにする。	作品記録の見直し									
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項					知識・技能				
0	0					0				
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
0	0					0				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
0	0					0				
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項					知識・技能				
0	0					0				
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
0	0					0				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
0	0					0				
定期考査（期末考査）/返却と解説										
										合計
										70